

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士（医学） 氏名 小野寺 俊輔

	主査	教授	寶 金 清 博
審査担当者	副査	教授	生 駒 一 憲
	副査	教授	佐々木 秀 直
	副査	教授	白 土 博 樹

学位論文題名

頭蓋内腫瘍に対する放射線治療による有害反応低減に関する研究

発表内容は、頭蓋内腫瘍に対する放射線治療による障害の背景から、まず照射方法の工夫についての検討として、研究課題 1 とし分割定位放射線治療による頭蓋底髄膜腫に対する治療成績とその有害事象の検討から、分割定位放射線治療の安全性と有効性について検証した。また、放射線治療による有害反応を軽減するといってもその客観的評価方法が確立されていないという現状から、研究課題 2 としてその評価方法の認知機能検査バッテリー作成から行い、それを用いた照射後の認知機能変化について検討を行った。それにより認知機能検査バッテリー自体の実行可能性について検証し、同時に撮像している DTI 画像によって画像的な早期評価方法の確立を目指した。これらの検討項目に対し、結果として分割定位放射線治療による有害反応は明らかなものは今回の研究では見られず、安全性が高いことがわかった。また、作成した新たな認知機能検査バッテリーは簡便で照射後の認知機能変化を鋭敏に捉えることが出来るバッテリーであった。今後このバッテリーでの検査結果と画像検査の結果とを比較検討することで、晩期の認知機能障害を早期の評価法を作成していく、という内容であった。

主査や副査より、研究課題 1 についての検証としては **Retrospective** な検討であり、分割定位照射の安全性としては証左の一つにはなるが、不十分な点もあるとの指摘があった。また研究課題 2 についてはさらに長期の検証も必要という指摘があった。しかし、研究課題 1 は解析自体は詳細になされ **Japanese Journal of Clinical Oncology** への掲載も果たしていること、また研究課題 2 については前向き研究でかつ 1 年内の結果は新知見を含むことから、審査員一同は、これらの成果を評価し、大学院博士課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。